

ISO方式ホイール
大型車、車輪脱落事故防止ポイント

下記の様なナットは使わない



その他の異常
事例はこちら



使用するナットにオイルを塗布する

- ①ナットのねじ部に
オイルを塗布



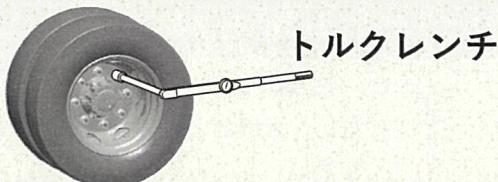
- ②ナットと座金のすき間
にオイルを塗布



- ③ナットを回し座金のすき間
全体にオイルをなじませる



トルクレンチを使って、規定トルクで締め付ける



規定トルク

・ 550～600 N·m

ナットの増し締め

タイヤ取付け後は50km～100km走行後を目安に増し締めしてください

日常点検でナットを確認

緩み、脱落を

・目で見る

・点検ハンマーを使う



インジケータを
使用すると緩みを
検出し易くなります

詳細については、裏面及び取扱説明書をご確認ください。

一般社団法人 日本自動車工業会

いすゞ自動車（株）／日野自動車（株）／三菱ふそうトラック・バス（株）／UDトラックス（株）

ISO方式ホイール取付け時のポイント

1 部品の点検と清掃

部品を点検し、以下のものは交換

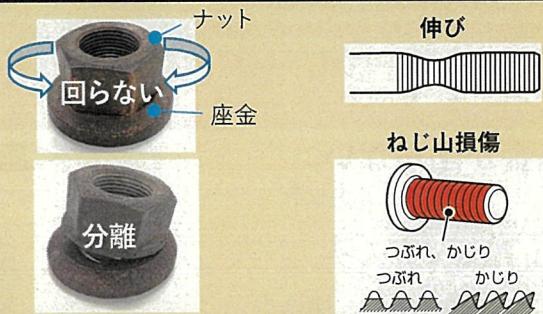
- ・ナット：座金が固着、分離、ねじ山の損傷
- ・ボルト：折れ※1、伸び、著しい錆、ねじ山の損傷

※1 折損している場合は、その車輪すべてのボルト、ナットを交換

部品取付け面、ネジ部を清掃する

ディスクホイール、ハブ、ボルト、ナットの

錆やゴミ、塗装などを取り除く。



2 ナット、ボルトへのオイル塗布

ナットとボルトにエンジンオイルを塗布

- ・ナット：①ねじ部、②ナットと座金のすき間
- ・ボルト：ねじ部

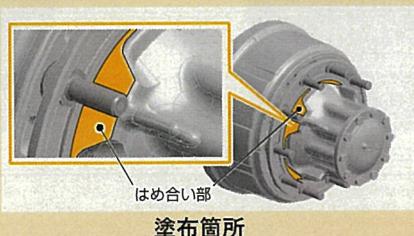
ナットを数回まわし、ナットと座金のすき間
全体にオイルをなじませる。



3 ホイールの取付け

・ハブのはめ合い部にグリースを薄く塗布
してください。

・ホイール取付けの際は
ボルトのねじ部を傷つけないよう注意し、
ホイールをハブの奥まで押し込んでください。



4 ナットの締付け

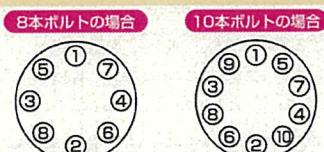
・ナットを手で回しホイールに着座する事を確認し、
かじった場合、ボルトとナットを交換
してください。

・仮締め後トルクレンチを使用して
規定のトルクで締付けてください。

規定トルク：550～600 N·m

注意

仮締め、本締めともに対角線順に締付けて
ください。



5 ナットの増し締め

・タイヤ取付け後 50～100km走行後を目安に、再度規定トルクで増し締めしてください。

日常点検で確認すること

①目で見て確認

- ・ナットが浮いてないか？
- ・ナット、ボルトは付いているか？
- ・ホイールに亀裂がないか？

②点検ハンマーで確認

- ・ナットに指をそえて叩く
⇒振動・音が他と違うと
緩みの恐れ

